

令和3年度 特別推薦型選抜 小論文（第二部商経学科） 解答例

問1（35点）

【採点のポイント】

- ・教師データによる学習の後に行われる学習で使用されるデータの中にバイアスが存在していることでAIが差別することが述べられているか。
- ・論理的に記述できているか。

【解答例】

機械学習の原理にもとづくAIでは、最初に与えられたデータセットを教師データとして学習することから運用が始まり、現実のデータを学習していきます。教師データによる学習の後から使用される現実のデータの中にバイアスが存在していると、AIはそのバイアスを学習し、最終的に差別的な判定を下すこととなります。（145文字）

問2（65点）

【採点のポイント】

- ・AIに関連づけて、自分はどのような能力を高めたいのか自分なりの考えが述べられているか。
- ・論理的に記述できているか。

【解答例】

私はAI時代に対応して、コミュニケーション能力と問題解決能力を高めたいです。私は人と接することが好きで、将来は営業職につくことを希望しており、AIに負けない営業を行えるようになりたいと思います。大量に蓄積されたデータを使っただけの分析力ではAIにはかえません。また、ただ単にカタログに書かれている商品情報を説明するだけの営業では、将来的にはAIに取って代わられると予想しています。私の考えるAIに負けない営業とは、お客さんと十分なコミュニケーションを取ることでお客さん自身が気付かないニーズを見つけ、それに対応できる商品を提案することです。

そのために将来の私に必要な能力は、コミュニケーション能力と問題解決能力だと考えています。私は、まず、社会活動や企業研修、アルバイトなどに積極的に参加することで、様々な年齢層の方々との交流を深め、コミュニケーション能力を高めたいです。問題解決能力については、知識、分析力、発想力、実行力など様々は要素が存在しますが、大学の授業で基本的な知識や方法を学ぶと同時に、これまでの人々が考えつかなかったやり方がないかを常に探求していくことで発想力を磨いていきたいです。その上でフィールドワークなどを通じて現実社会の問題に取り組む活動を行っているゼミに所属し、総合的に問題解決能力の育成を行っ

ていきたいと思います。(571 文字)